

2023年のねじ産業に関する報告

Report for Fastener Industry in 2023

2024年 6 月

Jun./2024

【18】イワタボルト

〈SOFI Series〉

Report for Fastener Industry in 2023

5, June, 2024

IWATA BOLT Co., Ltd.

〈SOFI シリーズ〉

2023年のねじ産業に関する報告

2024年6月5日

編集・作成 イワタボルト(株)総務課

2023年のねじ産業に関する報告

2024年 5月

はじめに

2023年を振り返ってみますと、日本国内は、コロナ禍と共存のうえ、脱コロナで経済再生へ舵が切られました。経済活動は好転し回復基調を示しましたが、中国での生産活動の遅れ、東欧の紛争問題の長期化による諸資源の調達難に円安が重なり、経済活動に陰りが現れました。海外では、欧州諸国の流通は回復を見ましたが、東欧紛争の継続がエネルギー資源コスト負担を重くし、米中貿易問題も重なり経済活動へ影響を及ぼしました。

このような背景で、大和総研が2023年12月に発表した日本経済見通しによりますと、日本の経済成長率は、2023年度実質 GDP 前年度比で +2.1%、海外では、米国が +2.5%、ユーロ圏が +0.5%、中国が +5.4% と22年比でユーロ圏だけ大きく低下しました。2024年の予測では、日本が +1.3%、米国 +1.5%、ユーロ圏 +0.8%、中国 +5.0% と予想されています。

2023年の世界経済における大きな注目点であった、欧米を中心とした金融引き締め政策は、おおむね終了する見込みとなり、一時は金融当局の想定以上に高騰したインフレ率も、足元では各国のインフレ目標へと収束する見通しが立ち始めています。

一方、金融緩和が続いた日本と中国について、日本はやや先行して緩和からの出口に接近しつつあり、緩和継続を背景とした為替の円安が一巡するならば、インフレ目標への収束と経済の正常化をサポートします。デフレ懸念も指摘される中国では、深刻な不動産不況が重荷となっているが、足元では徐々に対策が出始めていて、それらが効果を発揮するかが注目されます。

なお、ウクライナや中東での紛争をはじめとする地政学リスクは、インフレ再燃のリスク要因として引き続き注意が必要です。

日本の鉱業・製造業の活動状況を総合的にみることができる指標の鉱工業生産指数(2020年=100, 季節調整済み)の2023年12月速報値が経済産業省より1月31日に発表となりました。同指数は前月比 +1.8% で105.9となりました。生産・出荷は上昇、在庫・在庫率は低下しました。また製造工業生産予測調査によると1月は6.2%の低下、2月は +2.2%の上昇を予測しており、同省では12月の基調判断を「総じてみれば、生産は一進一退で推移している」としています。

12月の生産の上昇に寄与したのは、15業種のうち12業種となっています。その内訳は、汎用・業務用機械工業（コンベヤ、試験機、分析機器等、前月比9.3%増、前年同月比6.1%増）、化学工業（除・無機・有機化学工業・医薬品）（乳液・化粧水類、石けん類、頭髮用化粧品等、前月比7.9%増、前年同月比0.2%増）、生産用機械工業（半導体製造装置、食料品加工機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置等、前月比4.3%増、前年同月比11.5%減）、電気・情報通信機械工業（半導体・IC測定器、セパレート形エアコン、超音波応用装置等、前月比3.8%増、前年同月比3.9%減）、自動車工業（普通乗用車、普通トラック、特装ボデー等、前月比1.2%増、前年同月比12.1%増）、金属製品工業（飲料用アルミニウム缶、ばね、スチール製缶等、前月比3.8%増、前年同月比3.5%減）、電子部品・デバイス工業（モス型IC（メモリ）、固定コンデンサ、混成IC等、前月比2.0%増、前年同月比1.3%増）、輸送機械工業（除・自動車工業）（航空機用機体部品、船用ディーゼル機関、航空機用発動機部品等、前月比4.4%増、前年同月比9.1%増）、鉄鋼・非鉄金属工業（通信用ケーブル光ファイバ製品、伸銅製品、鉄系鍛工品等、前月比1.8%増、前年同月比2.1%減）、石油・石炭製品工業（重油、ガソリン、灯油等、前月比2.9%増、前年同月比3.0%減）、パルプ・紙・紙加工品工業（製紙パルプ、段ボールシート等、前月比1.9%増、前年同月比5.1%減）、プラスチック製品工業（プラスチック製容器（中空成形）、プラスチック製機械器具部品等、前月比0.1%増、前年同月比1.3%増）

低下した業種は、15業種のうち3業種が占めています。その内訳は、その他工業（乗用車用タイヤ、炭素繊維、合成繊維（長繊維）等、前月比0.2%減、前年同月比2.9%減）、窯業・土石製品工業（炭素製電極、安全ガラス等、前月比0.2%減、前年同月比3.4%減）、無機・有機化学工業（フェノール、合成アセトン、ビスフェノールA等、前月比0.1%減、前年同月比5.5%減）となっています。

日本鉄鋼連盟が発表した鉄鋼生産概況によると、2023年の粗鋼生産量は、8,699万6千トン（前年比2.5%減）と前年に比べ223万9千トン減少し、2年連続の減少となりました。



又、2023年12月度の自動車生産台数は、74万1,457台で前年同月比6.0%増となりました。2023年12月までの四輪車生産台数は899万8,538台で前年比14.8%増なり、前年実績を上回りました。

一方、日本電機工業会が1月24日に発表した民生用電気機器（電気冷蔵庫・電気洗濯機・ルームエアコン等）の2023年12月度における国内出荷金額は2,412億円、前年同月比5.1%増と2ヶ月連続のプラスとなりました。

製品別の国内出荷額をみると、ルームエアコンは582億円、前年同月比13.0%増となり、4ヵ月連続のプラス、電気冷蔵庫は372億円、前年同月比13.8%増で、3ヵ月ぶりのプラス、電気洗濯機は367億円、前年同月比3.0%減で、6ヵ月連続のマイナスとなりました。

年間出荷額は、2兆5,433億円、前年比1.1%減と2年ぶりにマイナスとなりました。新型コロナウイルスが5類に移行したことで、旅行や飲食などのサービス消費にシフトしたことが要因とみられます。

また電子情報技術産業協会が1月25日に発表した民生用電子機器（薄型テレビなど映像機器、オーディオ関連機器、カーAVC機器）の2023年1月～12月国内出荷額は、1兆1,232億円で前年比10.1%減となっています。

薄型テレビなどの映像機器の出荷額は、前年比12.7%減の5,100億円、オーディオ関連機器は、前年比2.8%減の706億円、カーAVC機器は、前年比8.4%減の5,426億円となっています。

機械工業における設備投資の動向を反映する工作機械の受注状況について、日本工作機械工業会の発表によると2023年は、国内の半導体や自動車関連需要が低調だったほか、中国の景気減速で企業の設備投資が伸び悩み、3年ぶりに前年比でマイナスとなりました。2023年の受注総額は、前年比16.0%減の1兆4,865億円となっています。

国土交通省が1月31日に発表した2023年度の新設住宅着工戸数は、前年比4.6%減の819,623戸で、3年ぶりの減少となりました。種類別では、持ち家が224,352戸、前年比4.6%減、分譲住宅は、246,299戸（マンション107,879戸で前年比0.3%減、一戸建住宅137,286戸で前年比6.0%減）で前年比3.6%減、貸家は、343,894戸で前年比0.3%減となっています。地域別の総戸数では、首都圏が2.5%減、中部圏が7.0%減、近畿圏が3.5%減となりました。

このような2023年の動向の中で、イワタボルトはお客様の多様な要望に的確にお応えしていくために、国内および海外部門にて、最新鋭機械・装置の導入をはじめ積極的な設備投資、商品開発を推進しました。

事業所の近況において、この度、イワタボルト広島分室は業務効率化と更なる業務拡大を図るため、広島県広島市佐伯区の西風新都に拠点を移し、「広島営業所」として2023年5月に新築移転いたしました。新たに製品倉庫を備え、物流面でも迅速且つ、柔軟な対応が可能となりました。お客様の利便性を高め、サービスを充実拡大し、より一層のお客様満足度の向上を図って参ります。

新営業所名 : イワタボルト (株) 広島営業所

営業開始日 : 2023年5月22日 (月)

新住所 : 〒731-5109 広島県広島市佐伯区石内北1-4-34 (変更)

電話番号 : (082) 941-4585 (変更)

FAX : (082) 941-4587 (変更)



2023年2月にイワタボルトは本田技研工業株式会社様主催のお取引先様懇談会にて、「優良感謝賞 品質部門」を受賞いたしました。同年4月にはイワタボルト本社に本田技研工業株式会社 BEV 開発センター 材料開発部 部長 高田様、課長 尾山様、アシスタントチーフエンジニア 白川様がお来社され、「優良感謝賞 品質部門」の盾の贈呈式が執り行われました。今回の受賞は本田技研工業株式会社様の各拠点への当社栃木工場及び各拠点の対応をご評価いただいた結果となります。

今回の受賞でイワタボルトは2017年の受賞に続き2回目の受賞となりました。



イワタボルトの本社 IB ラボは研究開発拠点であるとともに品質保証に関わる分析・解析拠点でもあります。寸法測定や機械的性質の確認の他、表面状態や金属組織、破断面の観察・解析が行われております。この度、IB ラボにマイクロ스코プを導入いたしました。弊社各工場には既にマイクロ스코プは設置されており、測定・観察・分析をおこなっておりますが、今回 IB ラボに導入致しましたマイクロ스코プはより高解像度、深い被写界深度を持った装置となっております。

— 本体仕様 —



—仕様—

名称	詳細
実効画素	2048(H)×1536(V)
低倍レンズ	20-200 倍
高倍レンズ	200-2000 倍



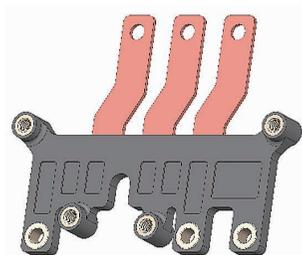
左側：通常の破面撮影



右側：Opt-SEM 機能を用いた破面撮影

開発オリジナル商品としては、めねじ部品である「ICC インサートナット」があります。現在、様々な樹脂成型部品において、締結の信頼性を確保するためにインサートナットを用いた締付け力の管理が行われています。しかし、袋穴のインサートナットは、製品の品質面において解決困難な課題を多く抱えていました。今回新たに開発いたしました「ICC インサートナット」は、“かしめ”の技術を応用することで、従来の課題を全て解決するだけでなく、従来品よりもコストを抑えた提案が可能になる画期的な製品です。

〈インサートナット使用例 左からケース、調整用ノブ、バスバー〉



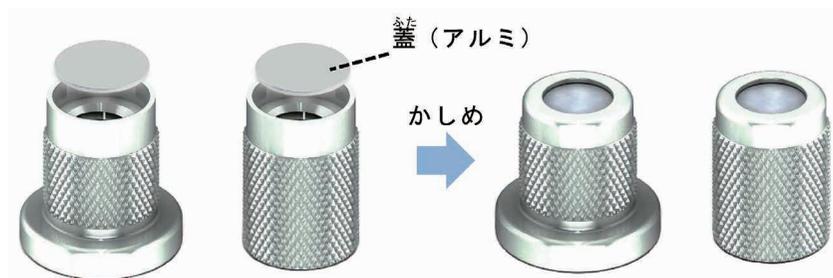
〈従来品の課題〉

- ① めねじにめっきが付き難い
- ② めっき液による液ダレ、シミの発生
- ③ 切粉の残留
- ④ 穴あけ・タップ加工時の往復運動による生産効率の低下
- ⑤ 不完全ねじ部により全長が長くなる

〈従来品の断面〉



〈ICCインサートナット = IWATA BOLT Crimped Cap end Insert Nut〉



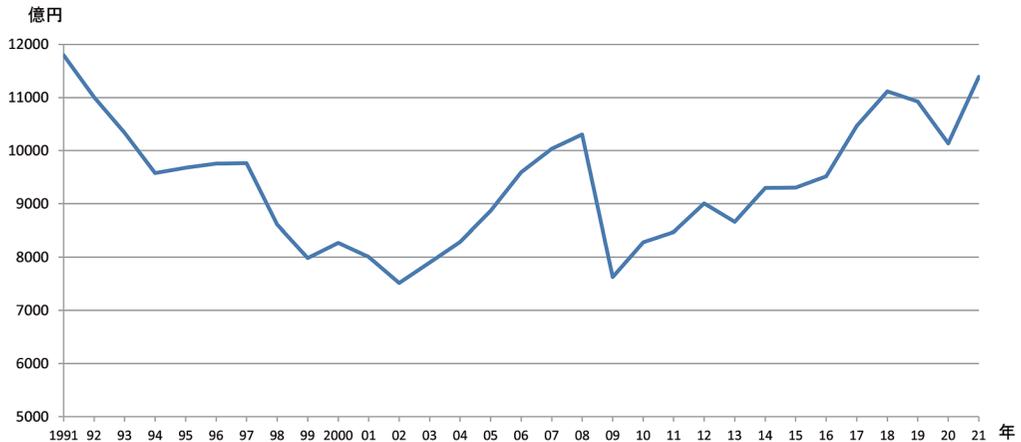
従来品の袋穴形状のインサートナットは、主にドリルを用いた切削加工により袋穴を成形していました。一方、ICCインサートナットでは、初めに冷間圧造による塑性加工にて貫通穴のナットブランクを成形し、ねじ加工と表面処理を行います。その後、貫通穴の状態に対して片側に蓋（ふた）をかしめる事で袋穴を成形しています。これらの特徴により従来品の課題を全て解決します。サイズは、M3からM8です。

以上に紹介いたしました事と製品へのご要望が有りましたら、弊社営業担当までご連絡をお願い致します。

1. ねじの生産と出荷

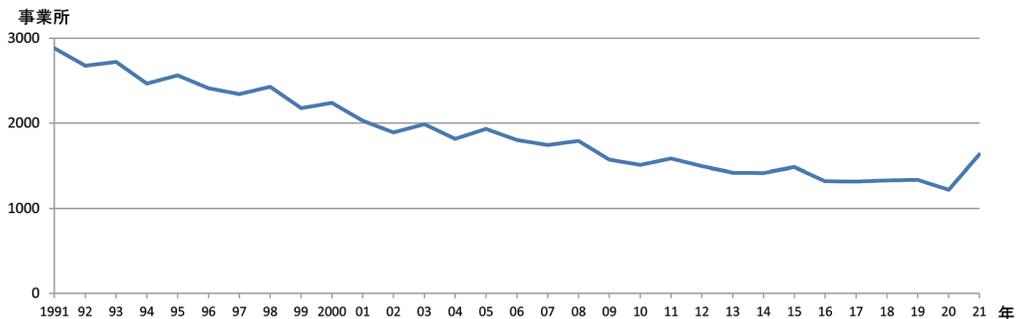
我が国のねじ生産と出荷の状況は、2年遅れで発行となる経済産業省・工業統計表が、2022年4月以降、総務省の「経済構造実態調査」の一部として実施変更となり、2023年7月31日に発表されました。また、統計の対象が2020年までは「4人以上の事業所」でしたが、2021年から「全事業所」に変更されました。2021年の全事業所のねじ総出荷額は、1兆1,390億9,000万円となりました。（グラフ-1）

ねじの出荷額の推移:4人以上事業所（1991年がピーク）（グラフ-1）
※2021年は全事業所の出荷額



また、2020年の4人以上の事業所数は1,218事業所でしたが、2021年の全事業所数は1,633事業所でした。この中で、従業者規模1人から9人の事業所数が861事業所となり、全事業所の約52%を占めます。（グラフ-2）

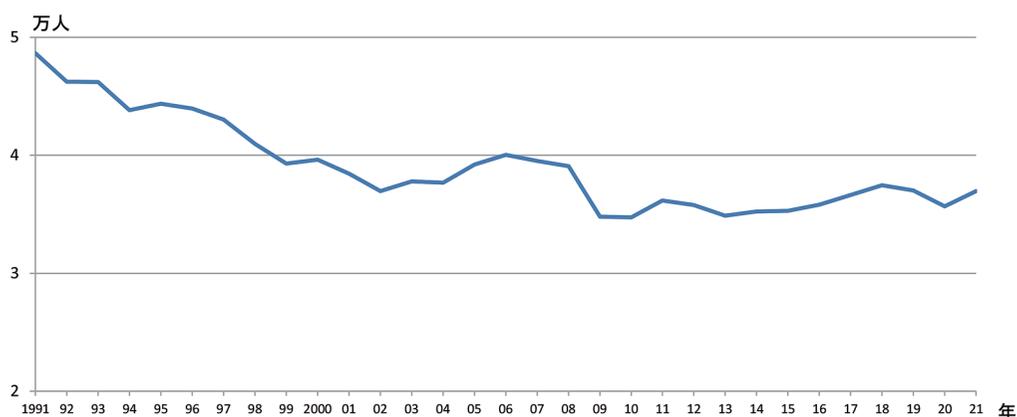
事業所数の推移:4人以上事業所（1991年以降）（グラフ-2）
※2021年は全事業所数



従業員数は、全事業所を対象とした2021年は36,960人となりました。従業者4人以上とした2020年は35,667人でした。（グラフ-3）

従業員数の推移:4人以上事業所（1991年以降）（グラフ-3）

※2021年は全事業所



付加価値額については、2021年は全事業所で4,259億3,900万円となり、2020年の4人以上の事業所との比較では、前年比17.0%増でしたが、全事業所の金額であっても2018年の4人以上の事業所4,423億3,500万円には届いておりません。〈表-1,2〉

（この付加価値額は生産額から消費税を除く内国消費税額と推計消費税額および原材料使用額等と原価償却を差し引いたもの）

〈表1〉ねじ産業5年間の推移（従業員4名以上、工業統計産業編より）（出荷額・付加価値額＝百万円）

※2021年は全事業所が対象

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
事業所数	1,315 100.0%	1,330 101.1%	1,336 101.6%	1,218 92.6%	1,633 124.2%
従業員数	36,636 100.0%	37,465 102.3%	37,020 101.0%	35,667 97.4%	36,960 100.9%
出荷額	1,046,719 100.0%	1,111,353 106.2%	1,092,791 104.4%	1,013,868 96.9%	1,139,090 108.8%
付加価値額	423,277 100.0%	442,335 104.5%	420,319 99.3%	363,751 85.9%	425,939 100.6%

〈表2〉ねじ産業の推移（出荷額ピークの1991年以降、4人以上事業所）

※2021年は全事業所

年	事業所数	%	従業員数	%	出荷額（百万円）	%
1991	2,882	100.0%	48,653	100.0%	1,179,713	100.0%
1992	2,676	92.9%	46,236	95.0%	1,100,448	93.3%
1993	2,720	94.4%	46,212	95.0%	1,033,690	87.6%
1994	2,465	85.5%	43,819	90.1%	957,742	81.2%
1995	2,561	88.9%	44,361	91.2%	968,054	82.1%
1996	2,410	83.6%	43,962	90.4%	975,860	82.7%
1997	2,343	81.3%	43,019	88.4%	976,019	82.7%
1998	2,429	84.3%	40,971	84.2%	861,145	73.0%
1999	2,176	75.5%	39,298	80.8%	798,717	67.7%
2000	2,239	77.7%	39,634	81.5%	826,796	70.1%
2001	2,028	70.4%	38,451	79.0%	800,947	67.9%
2002	1,892	65.6%	36,971	76.0%	751,656	63.7%
2003	1,989	69.0%	37,774	77.6%	789,992	67.0%
2004	1,816	63.0%	37,684	77.5%	828,591	70.2%
2005	1,933	67.1%	39,209	80.6%	887,035	75.2%
2006	1,802	62.5%	40,038	82.3%	959,406	81.3%
2007	1,744	60.5%	39,499	81.2%	1,003,624	85.1%
2008	1,790	62.1%	39,083	80.3%	1,030,445	87.3%
2009	1,571	54.5%	34,785	71.5%	762,728	64.7%
2010	1,509	52.4%	34,745	71.4%	828,191	70.2%
2011	1,585	55.0%	36,179	74.4%	847,410	71.8%
2012	1,494	51.8%	35,777	73.5%	900,926	76.4%
2013	1,419	49.2%	34,865	71.7%	865,965	73.4%
2014	1,417	49.2%	35,224	72.4%	930,040	78.8%
2015	1,484	51.5%	35,278	72.5%	930,329	78.9%
2016	1,319	45.8%	35,816	73.6%	951,844	80.7%
2017	1,315	45.6%	36,636	75.3%	1,046,719	88.7%
2018	1,330	46.1%	37,465	77.0%	1,111,353	94.2%
2019	1,336	46.4%	37,020	76.1%	1,092,791	92.6%
2020	1,218	42.3%	35,667	73.3%	1,013,868	85.9%
2021	1,633	56.7%	36,960	76.0%	1,139,090	96.6%

続いて、全事業所における2021年の品種別の出荷状況〈表3〉をみると、5分類の品種（ボルト・ナット、小ねじ・木ねじ、リベット、座金、ねじ関連製品）の全品種が増加となりました。但し、2020年までの統計は、4人以上の事業所です。

ボルト・ナットは数量で251万5,054トン（前年比17.5%増）、金額は7,485億600万円（前年比10.6%増）、小ねじ・木ねじは数量で12万7,543トン（前年比13.2%増）、金額は822億6,600万円（前年比12.6%増）、リベットは数量で9万209トン（前年比9.0%増）、金額は383億6,900万円（前年比17.4%増）、座金の金額は、286億9,600万円（前年比14.9%増）、ねじ関連製品の金額は1,404億4,800万円（前年比20.1%増）

という状況になっています。

なお、〈表3〉の出荷額が〈表1〉の出荷額と一致していないのは〈表1〉の出荷額には、製造品出荷額に加工賃収入額、製造工程から出たくずなどの出荷額、その他の収入額と消費税および内国消費税が含まれています。

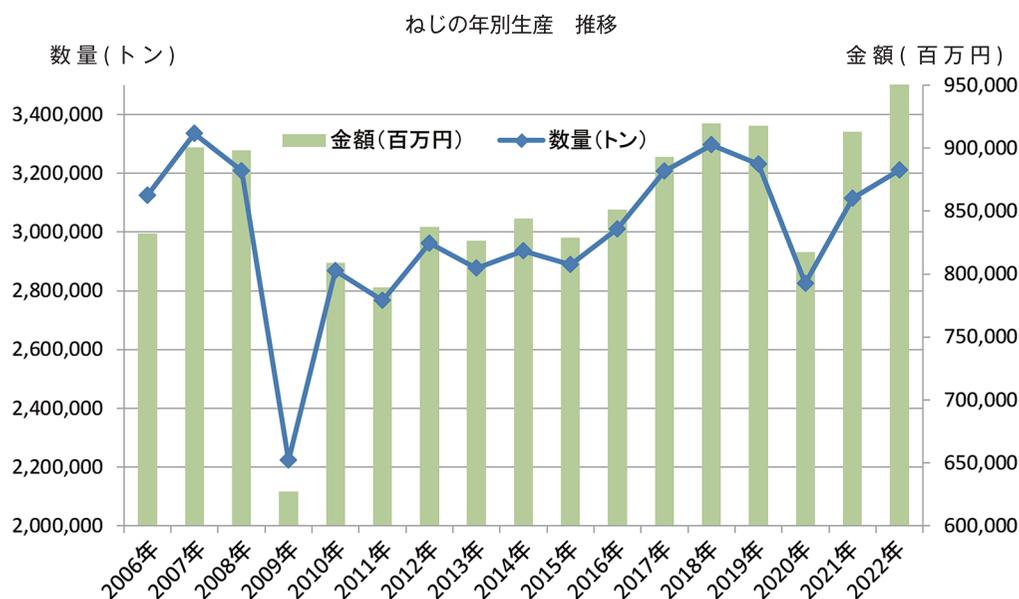
〈表3〉品種別出荷状況（従業員4名以上、工業統計表品目編による）（出荷量＝トン，出荷額＝百万円）
※2021年は全事業所

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
ボルト ・ ナット	量 %	2,036,065 100.0%	2,277,315 111.8%	2,181,947 107.2%	2,138,988 105.1%	2,515,054 123.5%
	額 %	685,051 100.0%	737,157 107.6%	709,381 103.6%	676,735 98.8%	748,506 109.3%
小ねじ ・ 木ねじ	量 %	141,160 100.0%	136,353 96.6%	136,405 96.6%	112,657 79.8%	127,543 90.4%
	額 %	89,153 100.0%	87,025 97.6%	88,303 99.0%	73,009 81.9%	82,266 92.3%
リベット	量 %	85,918 100.0%	87,561 101.9%	85,893 100.0%	82,759 96.3%	90,209 105.0%
	額 %	36,915 100.0%	38,114 103.2%	37,817 102.4%	32,666 88.5%	38,369 103.9%
座金	量 %	- -	- -	- -	- -	- -
	額 %	25,166 100.0%	26,146 103.9%	26,287 104.5%	24,955 99.2%	28,696 114.0%
関連製品	量 %	- -	- -	- -	- -	- -
	額 %	130,149 100.0%	138,704 106.6%	123,850 95.2%	116,895 89.8%	140,448 107.9%
合計	量 %	2,263,143 100.0%	2,501,229 110.5%	2,404,245 106.2%	2,334,404 103.1%	2,732,806 120.8%
	額 %	966,434 100.0%	1,027,146 106.3%	985,638 102.0%	924,260 95.6%	1,038,285 107.4%

ねじメーカーの団体である日本ねじ工業協会の資料〈表4〉でみると、2022年のねじ生産（対象品目＝ボルト・ナット，小ねじ，タッピンねじ，木ねじ，ねじ付部品の他締結部品の7品目）は生産数量で321万1,281トンとなり 前年比3.0%増生産額では、9,668億8,700万円となり 前年比5.9%増という状況です。

〈表4〉ねじの年別生産推移 単位：生産量トン、生産額百万円（(社)日本ねじ工業協会資料より）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
数量（トン）	3,207,572	3,297,245	3,231,661	2,825,464	3,114,740	3,211,281
％	100.0%	102.8%	100.8%	88.1%	97.1%	100.1%
金額（百万円）	893,152	919,727	917,578	817,434	912,743	966,887
％	100.0%	103.0%	102.7%	91.5%	102.2%	108.3%



なお、同協会の資料をもとに2006年以降のねじの生産推移をみますと、数量ではリーマンショック後の2009年とコロナ禍の影響を受けた2020年で大きな落ち込みがありました。2022年は2017年レベルの生産量に戻りました。

金額では、2009年以降数量と同様に増減を繰り返して2017年で2008年とほぼ同じ金額まで回復し、2022年は2018年のピークを超えました。

2017年との比較では、2022年は数量が100.1%、金額は108.3%でした。

2. ねじの輸出

日本のねじ輸出について2022年の状況からみていくと、輸出金額は、前年比4.8%増で155億2,900万円多い3,394億9,700万円、輸出重量は、前年比6.6%減で2万2,726トン少ない32万1,717トンとなりました。〈表5〉

同年における品目別の輸出状況では、主要品目の内、鉄鋼製タッピンねじと鉄鋼製ばね座金は、金額、重量共に増加しました。鉄鋼製ボルト、ステンレスボルト、鉄鋼製ナット、鉄鋼製その他のねじ、鉄鋼製その他ねじ付品、鉄鋼製リベット、鉄

〈表5〉ねじの輸出（品目別）

単位：重量トン、金額百万円（貿易統計より）

		2021年	2022年	増減%	2023.1~6
鉄鋼製ボルト	重量	185,605.5	175,091.2	-5.7%	74,596.0
	金額	132,286.6	139,054.3	5.1%	62,227.8
ステンレスボルト	重量	2,347.4	2,066.9	-11.9%	836.1
	金額	5,158.8	6,069.7	17.7%	3,755.5
鉄鋼製ナット	重量	83,079.9	75,681.6	-8.9%	32,069.1
	金額	73,552.3	76,926.3	4.6%	33,965.3
ステンレスナット	重量	1,569.6	1,449.4	-7.7%	627.2
	金額	4,433.1	4,807.5	8.4%	2,516.8
鉄鋼製タッピンねじ	重量	10,352.1	10,533.0	1.7%	4,280.2
	金額	11,049.2	12,157.6	10.0%	5,251.0
鉄鋼製木ねじ	重量	68.5	58.4	-14.7%	45.4
	金額	115.4	110.8	-4.0%	81.0
鉄鋼製その他のねじ	重量	21,677.6	19,328.6	-10.8%	8,655.0
	金額	35,560.0	35,458.2	-0.3%	15,202.3
鉄鋼製その他ねじ付品	重量	1,835.7	1,687.1	-8.1%	688.9
	金額	2,420.8	2,532.2	4.6%	1,151.0
鉄鋼製リベット	重量	3,229.1	2,977.1	-7.8%	1,336.6
	金額	4,837.9	4,923.5	1.8%	2,234.0
鉄鋼製ねじ無製品	重量	12,772.5	11,417.2	-10.6%	4,759.2
	金額	16,378.7	17,655.2	7.8%	7,625.4
鉄鋼製コーチねじ	重量	23.3	14.9	-36.1%	12.5
	金額	24.3	23.6	-2.9%	16.7
鉄鋼製スクリューフック	重量	10.6	9.8	-7.5%	0.3
	金額	9.6	10.6	10.4%	2.0
鉄鋼製ばね座金	重量	1,718.2	1,772.3	3.1%	779.9
	金額	3,031.1	3,639.8	20.1%	1,910.7
鉄鋼製平座金	重量	17,655.7	17,621.2	-0.2%	7,066.1
	金額	27,344.9	28,947.4	5.9%	12,654.3
鉄鋼製コッタピン	重量	1,465.7	1,097.7	-25.1%	504.3
	金額	4,673.5	4,001.5	-14.4%	1,720.3
銅製品	重量	1,031.4	910.6	-11.7%	418.1
	金額	3,092.3	3,179.2	2.8%	1,408.7
総 計	重量	344,442.8	321,717.0	-6.6%	136,674.9
	金額	323,968.5	339,497.4	4.8%	151,722.8

鋼製ねじ無製品、鉄鋼製平座金、及び銅製品は、重量は減少しましたが、金額は増加しました。鉄鋼製木ねじと鉄鋼製コッタピンは、金額、重量共に減少しました。

詳細をみていくと、鉄鋼製ボルトは重量が5.7%減の17万5,091トン、金額が5.1%増の1,390億5,400万円、ステンレスボルトは重量11.9%減の2,067トンで金額17.7%増の60億7,000万円、鉄鋼製ナットは重量8.9%減の7万5,682トンで金額4.6%増769億2,600万円、ステンレスナットは重量7.7%減の1,449トンで金額8.4%増の48億800万円、鉄鋼製タッピンねじは重量1.7%増の1万533トンで金額10.0%増の121億5,800万円などとなっています。

2023年上半期（1月～6月）実績は、重量で前年同期比15.2%減の13億6,675トン、金額で前年同期比7.0%減の1,517億2,300万円と重量、金額共に減少となりました。詳細をみますと、重量では鉄鋼製木ねじとコーチねじは増加しましたが、その他の製品は大幅な減少となりました。金額では、ステンレスボルト、ステンレスナット、鉄鋼製木ねじとコーチねじの4品種は増加しましたが、その他製品は減少しています。

〈表6-1〉ねじの輸出量（主要国別、銅製品を除く）

単位：トン（貿易統計より）

	2021年	2022年	22/21増減比%	国別比率%	2023.1～6
総計	343,411.4	320,806.4	-6.6%	100.0%	136,256.8
米 国	81,250.9	69,758.4	-14.1%	21.7%	32,417.5
E U	20,852.7	21,871.7	4.9%	6.8%	9,655.1
英 国	5,746.3	5,160.6	-10.2%	1.6%	2,575.7
韓 国	1,598.3	1,628.8	1.9%	0.5%	515.7
中 国	93,109.7	79,353.4	-14.8%	24.7%	25,813.7
台 湾	4,890.3	5,047.7	3.2%	1.6%	2,161.1
香 港	1,603.3	1,420.7	-11.4%	0.4%	535.6
タ イ	45,055.4	45,607.9	1.2%	14.2%	20,353.6
シンガポール	984.1	1,233.7	25.4%	0.4%	452.9
マレーシア	5,000.6	6,142.9	22.8%	1.9%	3,209.4
インドネシア	22,805.9	27,494.4	20.6%	8.6%	11,582.2
フィリピン	3,267.5	2,941.7	-10.0%	0.9%	1,468.2
カナダ	2,053.5	2,034.8	-0.9%	0.6%	1,163.9
メキシコ	14,170.9	12,488.2	-11.9%	3.9%	7,043.9
ブラジル	9,236.1	10,046.6	8.8%	3.1%	4,518.7
インド	12,196.5	13,863.4	13.7%	4.3%	6,686.7
オーストラリア	395.6	394.9	-0.2%	0.1%	182.5
他	24,940.1	14,316.6	-42.6%	4.5%	5,920.4

主要国別の輸出货量（銅製品除く鉄鋼製品）でみた2022年実績で5,000トン以上の輸先となった国・地域は多い順に、中国、米国、タイ、インドネシア、EU、インド、メキシコ、ブラジル、マレーシア、英国、台湾の11カ国地域です。2021年と比べると中国、香港、米国、メキシコ、フィリピンと英国で減少し、東南アジア地域、韓国、台湾、インド、ブラジルでは増加しました。前年比20%以上増加したところは多い順に、シンガポール、マレーシア、インドネシアの3カ国、10%以上増加したところは、インドでした。〈表6-1, 6-2〉

〈表6-2〉ねじの輸出金額（主要国別、銅製品を除く）

単位：金額百万円（貿易統計より）

	2021年	2022年	22/21増減比 %	国別比率	2023.1~6
総計	320,876.2	336,318.2	4.8%	100.0%	150,314.1
米 国	76,671.7	77,968.5	1.7%	23.2%	35,988.2
E U	18,351.2	21,158.3	15.3%	6.3%	10,237.8
英 国	4,623.6	4,458.1	-3.6%	1.3%	2,407.1
韓 国	2,928.8	2,830.0	-3.4%	0.8%	1,253.2
中 国	84,254.9	80,368.5	-4.6%	23.9%	28,002.5
台 湾	5,194.6	5,602.3	7.8%	1.7%	2,277.0
香 港	3,390.2	3,158.3	-6.8%	0.9%	1,275.3
タ イ	39,921.6	43,467.6	8.9%	12.9%	20,001.5
シンガポール	2,204.1	3,061.1	38.9%	0.9%	1,231.8
マレーシア	4,825.5	5,884.4	21.9%	1.7%	2,987.1
インドネシア	18,795.4	25,203.8	34.1%	7.5%	11,801.8
フィリピン	4,697.9	4,896.3	4.2%	1.5%	2,414.2
カナダ	2,462.6	3,747.3	52.2%	1.1%	2,522.5
メキシコ	12,681.1	12,835.3	1.2%	3.8%	8,437.6
ブラジル	7,211.8	9,033.1	25.3%	2.7%	4,379.9
インド	11,268.2	13,624.8	20.9%	4.1%	6,878.6
オーストラリア	831.4	1,524.8	83.4%	0.5%	540.3
他	20,561.6	17,495.8	-14.9%	5.2%	7,677.5

主要国別のねじ輸出状況をみると、中国向けは数量で前年比14.8%減の7万9,353トン、金額は4.6%減の803億6,900万円、米国向けは数量で前年比14.1%減の6万9,758トン、金額で1.7%増の779億6,900万円、タイ向けは数量で前年比1.2%増の4万5,608トン、金額で8.9%増の434億6,800万円、インドネシア向けは数量で前年比20.6%増の2万7,494トン、金額で34.1%増の252億400万円、EU向けは数量で前年比4.9%増の2万1,872トン、金額で15.3%増の211億5,800万円、インド向けは数量で

前年比13.7%増の1万3,683トン、金額で209%増の136億2,500万円、メキシコ向けは前年比11.9%減の1万2,488トン、128億3,500万円、ブラジル向けは数量で前年比8.8%増の1万47トン、金額で25.3%増の90億3,300万円、マレーシア向けは数量で前年比22.8%増の6,143トン、金額で21.9%増の58億8,400万円、英国向けは数量で前年比10.2%減の5,161トン、金額で3.6%減の44億5,800万円などとなっています。

続いて、2023年に入ってからへのねじ輸出（1~6月上半期）を前述上位11ヶ国地域について前年同期と比較すると、中国向けは数量で2万5,814トン、金額で280億300万円、米国向けは3万2,418トン、359億8,800万円、タイ向けは2万354トン、200億200万円、インドネシア向けは1万1,582トン、118億200万円、EU向けは9,655トン、102億3,800万円、メキシコ向けは7,044トン、84億3,800万円、インド向けは6,687トン、68億7,900万円、ブラジル向けは4,519トン、43億8,000万円、マレーシア向けは3,209トン、29億8,700万円、英国向けは2,576トン、24億700万円、台湾向けは2,161トン、22億7,700万円などとなっています。

〈表7〉ねじ輸出5年間の推移

（貿易統計より）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
数量（トン）	374,292.7	336,956.1	277,185.9	343,411.4	320,806.4
％	100.0%	90.0%	74.1%	91.7%	85.7%
金額（百万円）	332,312.6	304,321.3	254,043.1	320,876.2	336,318.2
％	100.0%	91.6%	76.4%	96.6%	101.2%

ねじの輸出は、リーマンショック後の2009年に大きく減少し、翌年にはV字回復を成しました。その後ほぼ右肩上がりで、2018年をピークに2019年、2020年と減少しました。2022年の輸出量は32万806トン前年度より減少し、2011年の実績とほぼ同じ数量となり、金額は2018年実績額を超え過去最高額となりました。〈表7〉

大幅に落ち込み、メキシコ、英国、フィリピンが落ち込みました。2017年には政治的問題が、2020年には資源問題が影を落としました。

3. ねじの輸入

2022年のねじ輸入は、金額で前年比34.1%と2年続けて大幅な増加を示し1,360億200万円となりました。重量では前年比5.1%増の25万4,566トンとなっています。〈表8〉

〈表8〉 ねじの輸入（品目別）

単位：重量トン、金額百万円（貿易統計より）

		2021年	2022年	増減%	2023.1~6
鉄鋼製ボルト	重量	93,651.3	96,629.8	3.2%	46,235.1
	金額	23,947.2	30,302.9	26.5%	14,458.6
ステンレスボルト	重量	11,845.4	12,526.5	5.7%	4,820.9
	金額	6,368.3	9,395.0	47.5%	3,451.7
鉄鋼製ナット	重量	28,842.9	30,843.6	6.9%	13,627.9
	金額	14,466.0	19,484.8	34.7%	9,262.5
ステンレスナット	重量	5,927.3	7,185.4	21.2%	2,623.7
	金額	6,209.5	9,863.5	58.8%	4,199.0
鉄鋼製タッピンねじ	重量	13,224.6	15,060.3	13.9%	6,880.0
	金額	5,009.5	7,274.4	45.2%	3,273.9
鉄鋼製木ねじ	重量	19,279.2	20,017.4	3.8%	7,866.0
	金額	6,425.0	8,876.9	38.2%	3,504.9
鉄鋼製その他のねじ	重量	24,655.9	26,836.3	8.8%	10,644.2
	金額	13,164.8	18,032.6	37.0%	8,176.4
鉄鋼製その他ねじ付品	重量	15,064.8	15,896.3	5.5%	7,628.9
	金額	6,044.4	8,037.3	33.0%	3,905.5
鉄鋼製リベット	重量	1,998.9	1,399.8	-30.0%	672.1
	金額	1,058.9	1,036.4	-2.1%	769.7
鉄鋼製ねじ無製品	重量	5,823.9	6,686.4	14.8%	3,058.4
	金額	5,539.9	7,495.0	35.3%	3,498.6
鉄鋼製コーチねじ	重量	982.1	1,075.0	9.5%	497.8
	金額	213.7	319.7	49.6%	125.8
鉄鋼製スクリューフック	重量	729.1	568.5	-22.0%	277.9
	金額	340.4	289.0	-15.1%	157.5
鉄鋼製ばね座金	重量	5,184.6	5,082.0	-2.0%	2,451.5
	金額	2,168.9	2,482.3	14.4%	1,232.6
鉄鋼製平座金	重量	9,896.8	9,825.8	-0.7%	4,205.5
	金額	5,474.9	6,806.3	24.3%	3,505.7
鉄鋼製コッタピン	重量	3,635.9	3,150.7	-13.3%	1,433.9
	金額	1,632.3	1,610.5	-1.3%	829.8
銅製品	重量	1,468.6	1,782.5	21.4%	864.2
	金額	3,348.7	4,695.7	40.2%	2,244.9
総計	重量	242,211.3	254,566.3	5.1%	113,788.0
	金額	101,412.4	136,002.3	34.1%	62,597.1

品目別のねじ輸入状況では、主要製品の鉄鋼製ボルトが重量で前年比3.2%増の9万6,630トン、金額で26.5%増の303億300万円、ステンレスボルトが重量で前年比5.7%増の1万2,527トンで金額47.5%増の93億9,500万円、鉄鋼製ナットが前年比6.9%増の3万844トンで金額34.7%増の194億8,500万円、ステンレスナットが前年比21.2%増の7,185トンで金額58.8%増の98億6,400万円、鉄鋼製タッピンねじが前年比13.9%増の1万5,060トンで金額45.2%増の72億7,400万円、鉄鋼製木ねじが前年比3.8%増の2万17トンで金額38.2%増の88億7,700万円、鉄製その他ねじが前年比8.8%増の2万6,836トンで金額37.0%増の180億3,300万円、鉄鋼製その他のねじ付品が前年比5.5%増の1万5,896トンで金額33.0%増の80億3,700万円、鉄鋼製リベットが前年比30.0%減の1,400トンで金額2.1%減の10億3,600万円、鉄鋼製のねじ無製品が前年比15.4%増の5,824トンで金額17.4%増の55億4,000万円などとなっています。〈表8〉

2022年のねじ輸入量を国別に見ますと、中国、台湾、ベトナム、韓国、タイ、EU、マレーシア、米国などの順で輸入されています。〈表9-1, 9-2〉

〈表9-1〉ねじの輸入量（主要国別、銅製品を除く）

単位：トン（貿易統計より）

	2021年	2022年	22/21増減比%	国別比率%	2023.1~6
総計	240,742.7	252,783.8	5.0%	100.0%	112,923.8
米 国	1,142.3	1,112.8	-2.6%	0.4%	540.0
E U	2,650.8	3,188.7	20.3%	1.3%	1,518.0
英 国	158.3	176.2	11.3%	0.1%	92.3
韓 国	14,021.3	12,397.7	-11.6%	4.9%	5,111.1
中 国	137,167.8	145,452.8	6.0%	57.5%	68,075.1
台 湾	65,961.0	69,592.1	5.5%	27.5%	26,465.3
タ イ	3,308.9	3,723.8	12.5%	1.5%	1,546.1
シンガポール	55.7	81.1	45.6%	0.0%	12.2
マレーシア	1,891.6	1,980.4	4.7%	0.8%	866.1
インドネシア	628.8	508.8	-19.1%	0.2%	218.9
ベトナム	12,586.0	13,031.2	3.5%	5.2%	7,761.9
他	1,170.2	1,538.2	31.4%	0.6%	716.7

中国からの輸入量は前年比6.0%増の14万5,453トンで金額35.4%増の485億700万円、台湾からは前年比5.5%増の6万9,592トンで金額40.9%増の392億200万円、ベトナムからは前年比3.5%増の1万3,031トンで金額26.9%増の47億3,200万円、韓国か

らは前年比11.6%減の1万2,398トンで金額11.8%増の63億4,400万円、タイからは前年比12.5%増の3,724トンで金額20.9%増の35億100万円、EUからは前年比20.3%増の3,189トンで金額37.0%増の76億1,500万円、マレーシアからは前年比4.7%増の1,980トンで金額42.3%増の13億2,600万円、米国からは前年比2.6%減の1,113トンで金額27.0%増の147億4,300万円となっています。続いて、2023年上半期（1月～6月）のねじ輸入について、重量で前年同期比15.1%減の11万2,924トン、輸入額は4.1%減の603億5,200万円となりました。

〈表9-2〉ねじの輸入金額（主要国別、銅製品を除く）

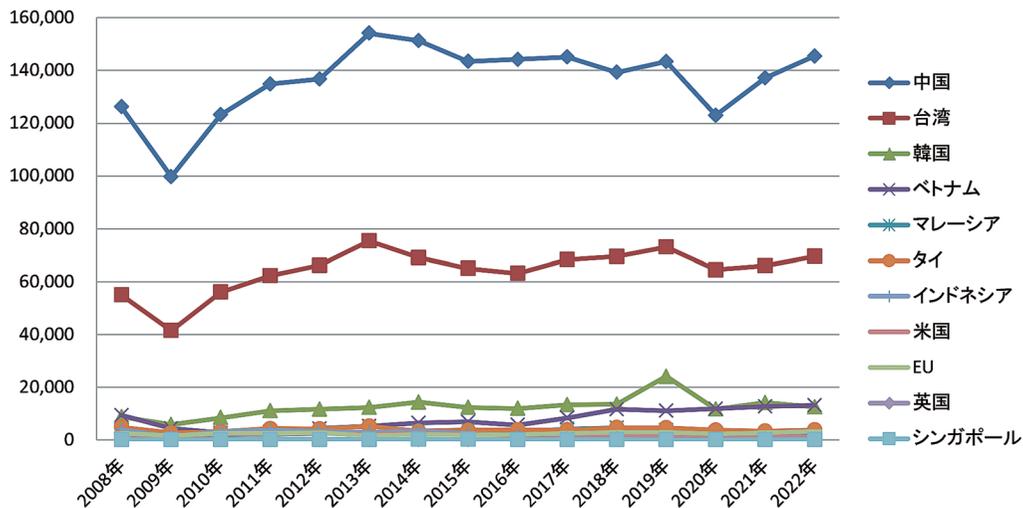
単位：金額百万円（貿易統計より）

	2021年	2022年	22/21増減比%	国別比率	2023.1～6
総計	98,063.7	131,306.6	33.9%	100.0%	60,352.2
米 国	11,609.6	14,743.4	27.0%	11.2%	8,596.9
E U	5,559.8	7,615.2	37.0%	5.8%	4,019.5
英 国	1,180.9	1,678.1	42.1%	1.3%	771.0
韓 国	5,676.2	6,343.5	11.8%	4.8%	2,956.5
中 国	35,823.5	48,507.0	35.4%	36.9%	22,026.8
台 湾	27,827.3	39,202.1	40.9%	29.9%	15,436.5
タ イ	2,894.9	3,501.1	20.9%	2.7%	1,607.5
シンガポール	159.2	213.6	34.2%	0.2%	51.2
マレーシア	932.2	1,326.4	42.3%	1.0%	567.6
インドネシア	622.2	611.5	-1.7%	0.5%	272.0
ベトナム	3,729.7	4,731.7	26.9%	3.6%	2,591.1
他	2,048.2	2,832.9	38.3%	2.2%	1,455.5

ねじの輸入量において 貿易統計の資料をもとに推移をみますと、中国製の占有率は、2009年の全体比62.1%を最大に59%前後で推移し、2013年より増加し 2016年に60%台を回復しますが、以後減少して2019年に53.8%まで下降し、その後戻し現状57%台まで回復しています。台湾製は、ここ10年間26%台を下限に増加し、2020年に29%の最大を占めますが、現状27%台で落ち着いています。韓国製は、2019年に9%の最大を占めますが、減少し現状5%台となっています。ベトナム製は、2018年に1万トンを超え、順調に増加を示しており、現状は韓国製とほぼ同じ占有率となっています。

単位トン

主要国別 ねじの輸入量推移



(表10) ねじ輸入5年間の推移

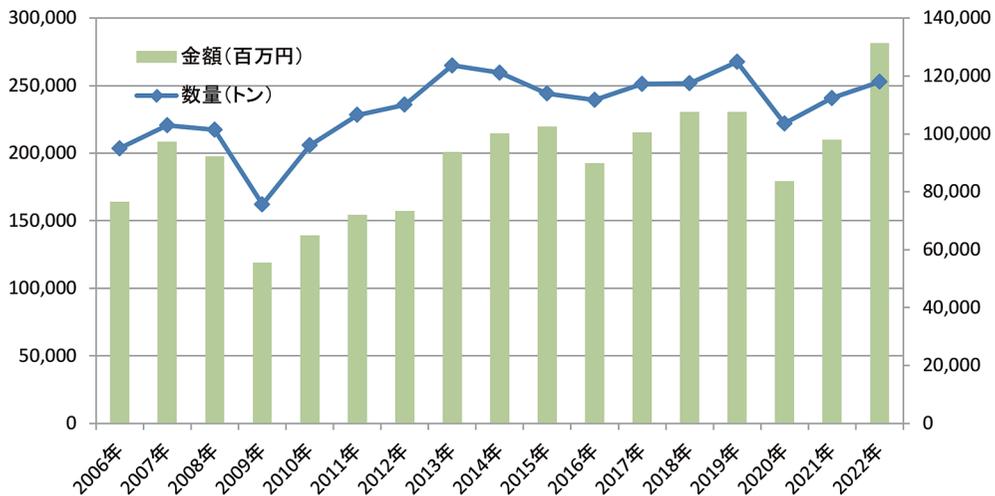
(貿易統計より)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
数量 (トン)	251,814.3	267,565.6	221,915.8	240,742.7	252,783.8
%	100.0%	106.3%	88.1%	95.6%	100.4%
金額 (百万円)	107,555.2	107,549.9	83,691.8	98,063.7	131,306.6
%	100.0%	100.0%	77.8%	91.2%	122.1%

数量(トン)

ねじの輸入 推移

金額(百万円)



グラフからわかるように、リーマンショックの影響で2009年は数量・金額共に大幅に落ち込みました。翌年にはV字回復をして2013年まで増加を示しました。

以降、数量は2016年まで緩やかに下降し、その後緩やかに増加し 2019年に最大を示しましたが、2020年の新型コロナ禍による経済活動の停滞が影響して大きく落ち込みました。

金額では2013年以降も増加し、2016年の落ち込みを除けば、2019年までほぼ増加を示しています。2020年は大きく落ち込みますが、急激な回復を示し2022年は過去最高の金額となりました。2022年の数量は2020年比13.9%増、金額では56.9%増となりました。

ねじ需要産業の動向（参考）

2022年以降コロナ禍後の経済活性へ舵が切られました。ねじ需要を支える主要産業である自動車産業、家電・電子機器産業、工作機械産業などは、持ち直し傾向にありましたが、長引く東欧紛争と米中問題が経済活動に影を落としました。ここでは経済産業省生産動態調査による工業製品の生産実数値について 幾つか参考までにみることにします。

まず、自動車の2023年の生産は899万8,538台で前年比14.8%増、116万3,056台増加しました。内訳をみますと、乗用車が20.7%増で109万2,208台の増加、軽乗用車が8.3%増で10万8,532台の増加、トラックは3.4%減で2万5,702台の減少、軽トラックが7.2%減で3万1,381台の減少、バスは22.9%の増加で1万9,939台の増加となっています。2023年は、乗用車と軽乗用車の生産台数の回復が見られました。

◇自動車

(台)

	乗用車	軽乗用車	トラック	軽トラック	バス	計
2020年	5,602,761	1,357,648	659,761	377,970	69,801	8,067,941
2021年	5,334,915	1,284,287	778,703	375,351	73,659	7,846,915
2022年	5,265,228	1,301,090	751,370	433,183	84,611	7,835,482
2023年 1月	405,549	117,371	55,672	34,710	7,174	620,476
2月	509,488	121,534	64,382	35,958	7,272	738,634
3月	601,992	140,972	71,234	41,292	10,770	866,260
4月	513,697	98,760	56,511	33,812	8,680	711,460
5月	453,326	89,611	53,564	20,591	6,343	623,435
6月	560,795	104,975	61,833	26,785	8,986	763,374
7月	570,980	107,444	61,722	28,466	9,440	778,052
8月	436,675	109,234	52,400	32,932	8,142	639,383
9月	599,404	131,110	60,473	39,720	9,941	840,648
10月	574,070	134,566	61,814	38,436	9,472	818,358
11月	602,451	140,671	65,314	39,237	9,328	857,001
12月	529,009	113,374	60,749	29,863	8,462	741,457
1～12月計	6,357,436	1,409,622	725,668	401,802	104,010	8,998,538

設備投資の指標となる金属工作機械の2022年の生産状況は、前年比20.1%減の7万4台となりました。2023年1月～6月上半期は、前年同期比12.3%減の3万2,509台となっています。

◇工作機械、他

(台)

	金属工作機械	はん用内燃機関	ショベルトラック	フォークリフトトラック
2020年	45,569	3,195,713	8,267	108,419
2021年	87,593	3,832,906	11,205	119,477
2022年	70,004	3,629,888	11,795	126,574
2023年 1月	4,931	252,182	922	8,364
2月	5,979	278,263	953	9,815
3月	6,312	305,107	1,117	9,893
4月	5,571	192,850	1,009	8,715
5月	4,769	173,583	983	7,752
6月	4,947	214,520	1,219	9,811
1～6月計	32,509	1,416,505	6,203	54,350

一方、薄型テレビの2022年生産は前年比68.2%増の16万5,245台となり、2023年1月～6月上半期は、前年同期比35.6%減の4万7,488台という生産状況です。電機冷蔵庫の2022年生産は、前年比1.6%増の128万2,329台で、2023年1月～6月期は前年同期比12.3%減の53万6,387の生産となっています。

◇家 電

(台)

	薄型テレビ	クッキングヒーター	電気洗濯機	電気冷蔵庫
2020年	154,179	741,847	840,932	1,320,594
2021年	98,214	733,932	810,418	1,261,547
2022年	165,245	792,143	725,447	1,282,329
2023年1月	2,239	61,757	48,066	85,589
2月	6,141	67,410	55,679	76,051
3月	11,166	67,206	66,934	73,585
4月	9,712	65,416	63,659	104,806
5月	6,618	53,066	60,093	88,758
6月	11,612	57,491	65,299	107,598
1～6月計	47,488	372,346	359,730	536,387

デジタルカメラの2022年生産は、前年比2.1%増の198万6,187台となりましたが、2023年1月～6月期も前年同期比17.5%増の105万5,172台となっています。ネットワーク接続機器の2022年生産は、前年比25.3%減の83万5,365台でしたが、2023年1月～6月期も前年同期比21.7%減の36万9,606台となっています。

◇デジタルカメラ、複写機など

(台)

	デジタルカメラ	ネットワーク接続機器	デジタル・フルカラー複写機	固定通信装置
2020年	1,868,145	1,515,862	91,408	236,455
2021年	1,945,930	1,118,317	88,650	214,305
2022年	1,986,187	835,365	117,736	163,653
2023年1月	90,626	110,282	10,727	12,222
2月	165,551	65,871	11,132	10,305
3月	191,338	73,910	10,759	21,952
4月	180,932	48,045	6,226	11,787
5月	182,384	30,383	6,111	14,398
6月	244,341	41,115	7,610	11,192
1～6月計	1,055,172	369,606	52,565	81,856

パソコンの2022年生産は、前年比10.0%減の497万4,636台となりましたが、2023年1月～6月期は、前年同期比9.2%増の252万6,220台となっています。カーナビゲーションの2022年生産は、前年比3.6%減の485万1,896台となりましたが、2023年1月～6月期は、前年同期比35.2%増の299万1,457台となっています。

◇パソコン、カーナビゲーションほか

(台)

	パソコン	システムキッチン	ボタン電話装置	カーナビ
2020年	6,044,635	868,062	102,907	5,081,384
2021年	5,525,547	843,655	99,291	5,033,549
2022年	4,974,636	846,517	109,283	4,851,896
2023年1月	397,794	63,374	8,718	511,698
2月	422,937	71,287	10,124	486,485
3月	517,025	71,897	16,032	543,291
4月	383,975	64,667	10,290	498,096
5月	343,165	62,757	8,147	438,085
6月	461,324	71,690	7,605	513,802
1～6月計	2,526,220	405,672	60,916	2,991,457

ガス機器の2022年生産は、前年比12.2%増の800万5,632台となりましたが、2023年1月～6月期は、前年同期比9.8%減の340万7,586台となっています。

◇産業ロボットほか

(台)

	数値制御ロボット	プレイバックロボット	ガス機器	セパレート型エアコン
2020年	28,596	123,017	7,294,521	4,713,337
2021年	35,162	165,469	7,136,951	4,321,033
2022年	38,773	192,143	8,005,632	4,412,430
2023年1月	2,435	14,581	604,067	305,080
2月	3,193	14,973	631,431	366,169
3月	4,114	16,181	636,662	443,830
4月	3,249	13,947	556,560	470,050
5月	2,994	12,610	472,175	468,279
6月	3,314	14,787	506,691	526,489
1～6月計	19,299	87,079	3,407,586	2,579,897

イワタボルトはあなたの会社に 最適締結システムを提供します

本社 〒141-8508 東京都品川区西五反田2-32-4
TEL 03 (3493) 0211 (大代) FAX 03 (3493) 2096
S O F I 課 TEL 03 (3493) 0251 (代)
資材課 TEL 03 (3493) 0252 (代)
技術開発課 TEL 03 (3493) 0214 (代)
品質管理課 TEL 03 (3493) 0253 (代)
海外課 TEL 03 (3493) 0254 (代)

栃木工場 〒329-2331 栃木県塩谷郡塩谷町大字田所字八汐1601-6
TEL 0287 (45) 1051 (代) FAX 0287 (45) 1053

オハイオ工場 102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A
TEL 1-513-942-7070 FAX 1-513-942-5566

シンガポール工場 No.10 BENOI CRESCENT JURONG TOWN
SINGAPORE 629973
TEL 65-6266-3794-3795 FAX 65-6266-2115

中国深圳工場 シンセン No.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-2714-0442 FAX 86-755-2714-0443

タイ工場 700/834 MO06 AMATA CITY CHONBURI
INDUSTRIAL ESTATE T.NONGTAMLUENG, A.
PHANTHONG CHONBURI 20160 THAILAND
TEL 66-38-185-595 FAX 66-38-185-599

一関営業所 〒021-0902 岩手県一関市萩荘字打ノ目244-1
TEL 0191 (24) 4110 (代) FAX 0191 (24) 4180

山形営業所 〒990-0073 山形県山形市大野目4-2-60
TEL 023 (631) 6321 (代) FAX 023 (631) 6322

仙台営業所 〒981-1224 宮城県名取市増田6-3-46
TEL 022 (384) 0265 (代) FAX 022 (384) 0694

福島営業所 〒963-0111 福島県郡山市安積荒井一丁目115
TEL 024 (945) 9610 (代) FAX 024 (945) 9605

宇都宮営業所 〒329-2331 栃木県塩谷郡塩谷町大字田所字八汐1601-6
TEL 0287 (45) 1421 (代) FAX 0287 (45) 1422

栃木分室 〒321-3325 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56-2
ホンダ開発ビル4階 403号室
TEL 028 (677) 4721 (代) FAX 028 (677) 4719

上田営業所 〒386-0005 長野県上田市古里42-25
TEL 0268 (26) 1295 (代) FAX 0268 (26) 1259

群馬営業所 〒370-3524 群馬県高崎市中央町621-6
TEL 027 (372) 4361 (代) FAX 027 (372) 4366

太田営業所 〒373-0841 群馬県太田市岩瀬川町113-3
TEL 0276 (46) 1796 (代) FAX 0276 (46) 1764

埼玉営業所 〒364-0013 埼玉県北本市中丸4-72番地
TEL 048 (591) 2212 (代) FAX 048 (591) 2261

つくば営業所 〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-27-25
TEL 029 (855) 0764 (代) FAX 029 (855) 0769

千葉営業所 〒292-0834 千葉県木更津市潮見6-10
TEL 0438 (37) 3094 (代) FAX 0438 (37) 3194

五反田営業所 〒141-8508 東京都品川区西五反田2-32-4
TEL 03 (3493) 0221 (代) FAX 03 (3493) 2096

多摩営業所 〒196-0032 東京都昭島市郷地町2-38-3
TEL 042 (541) 5534 (代) FAX 042 (541) 6416

横浜営業所 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-13-38
TEL 045 (781) 4311 (代) FAX 045 (781) 4361

湘南相模営業所 〒243-0203 神奈川県厚木市下荻野534番地
TEL 046 (241) 7021 (代) FAX 046 (241) 7023

富士営業所 〒417-0061 静岡県富士市伝法3205-1
TEL 0545 (57) 0600 (代) FAX 0545 (57) 0604

浜松営業所 〒430-0831 静岡県浜松市中央区御給町179-1
TEL 053 (425) 1118 (代) FAX 053 (425) 9448

名古屋営業所 〒452-0847 愛知県名古屋市中区野南町50番地
TEL 052 (502) 7761 (代) FAX 052 (502) 7763

安城営業所 〒446-0019 愛知県安城市新明町1-5
TEL (0566) 72-6722 (代) FAX (0566) 72-6724

三重営業所 〒510-0971 三重県四日市市南小松町2670-15
TEL 059 (329) 6731 (代) FAX 059 (329) 6732

大阪営業所 〒581-0822 大阪府八尾市高砂町3-3-16
TEL 072 (923) 7910 (代) FAX 072 (923) 7911

広島営業所 〒731-5109 広島県広島市佐伯区石内北1-4-34
TEL 082 (941) 4585 (代) FAX 082 (941) 4587

福岡営業所 〒824-0068 福岡県行橋市大字延永三反田74-3
TEL 0930 (23) 9444 (代) FAX 0930 (23) 9451

久留米営業所 〒839-0809 福岡県久留米市東合川2-4-38
TEL 0942 (45) 3451 (代) FAX 0942 (45) 3452

IWATA BOLT HONG KONG CO., LTD. [香港]
UNIT 4, 8/F., BLOCK A, NEW TRADE PLAZA, 6
ON PIN STREET, SHATIN, N.T. HONG KONG.
TEL 852-2649-9110 FAX 852-2646-6119

IWATA BOLT (SHANGHAI) CO., LTD. [上海]
PART B, NO.39 BUILDING, 461 HUA JING ROAD,
SHANGHAI WAIGAOQIAO FREE TRADE ZONE,
P.R. CHINA ZIP 200131
TEL 86-21-5046-3037 FAX 86-21-5046-3038

IWATA BOLT (SHANGHAI) CO., LTD. SUZHOU BRANCH. [蘇州支店]
UNIT A2 NO.29 ZHONG HUAN BUILDING, 369
LUSHAN ROAD, SUZHOU, JIANGSU PROVINCE,
P.R. CHINA ZIP215129
TEL 86-512-6937-0030 FAX 86-512-6937-0031

IWATA BOLT (WUHAN) CO., LTD. [武漢]
UNIT 006, MERIT GARDEN, NO.173, ZHUJANYANG
AVE, WUHAN ECONOMIC&TECHNOLOGICAL
DEVELOPMENT ZONE, WUHAN, HUBEI,
P.R.CHINA ZIP430056
TEL 86-27-8429-7871 FAX 86-27-8429-7874

IWATA BOLT (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳工場]
NO.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-2714-0442 FAX 86-755-2714-0443

IWATA BOLT AUTO PARTS (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳汽車零部件]
No.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-8149-6291 FAX 86-755-8149-6295

IWATA BOLT TRADING (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳貿易]
UNIT A2/F XINGDA LOGISTICS BUILDING NO.3,
LANHUA ROAD FUTIAN FREE TRADE ZONE
SHENZHEN CHINA ZIP 518038
TEL 86-755-6130-1077 FAX 86-755-6113-6138

IWATA BOLT (THAILAND) CO., LTD. [タイ]
700/834 MO06 AMATA CITY CHONBURI
INDUSTRIAL ESTATE T.NONGTAMLUENG, A.
PHANTHONG CHONBURI 20160 THAILAND
TEL 66-38-185-595 FAX 66-38-185-599

IWATA BOLT (THAILAND) CO., LTD. AYUTTHAYA OFFICE [アユタヤ分室]
139 MOO 3 THAVORNKANLANPACHAIBD, 2ND FLOOR,
ASIA BANGPAIN ROAD, T.K.LONGSUNPLU
A. AYUTTHAYA AYUTTHAYA 13000 THAILAND
TEL 66-35-930-646 FAX 66-35-930-647

IWATA BOLT SINGAPORE PTE. LTD. [シンガポール]
NO.10 BENOI CRESCENT JURONG TOWN
SINGAPORE 629973
TEL 65-6266-3794-3795 FAX 65-6266-2115

IBK FASTENER MALAYSIA SDN. BHD [マレーシア]
TAMAN PERINDUSTRIAN JAYA, NO.5 JALAN
PUJUTA/8(TPJ2), ARA DAMANSARA 47301
PETALING JAYA, SELANGOR MALAYSIA.
TEL 60-3-78438801 FAX 60-3-78438804

PT. IWATA BOLT INDONESIA [インドネシア]
JL. KENARI 11 BLOK G1A NO.8 DELTA SILICON 5
LIPPO CIKARANG BEKASI 17550 INDONESIA
TEL 62-21-2961-7881 FAX 62-21-2961-7883

IWATA BOLT USA INC. [U.S.A. 本社]
102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-5050 FAX 1-513-942-5566

IWATA BOLT USA INC. [オハイオ支店]
102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-5050 FAX 1-513-942-5566

IWATA BOLT USA INC. [ロサンゼルス支店]
7131 ORANGWOOD AVE. GARDEN GROVE,
CALIFORNIA 92841-1409 U.S.A.
TEL 1-714-894-7302 FAX 1-714-897-0888

IWATA BOLT USA INC. [アトランタ支店]
5324 GA HWY 85, SUITE 900, FOREST PARK,
GEORGIA 30297 U.S.A.
TEL 1-404-762-8404 FAX 1-404-669-9606

IWATA BOLT USA INC. [ナッシュビル支店]
401 AIRPARK CENTER DR., NASHVILLE,
TENNESSEE 37217 U.S.A.
TEL 1-615-365-1201 FAX 1-615-365-1206

IWATA BOLT USA INC. [カナダ支店]
1199 RINGWELL DR., UNIT B, NEWMARKET,
ONTARIO L3Y 8T8 CANADA
TEL 1-905-953-9433 FAX 1-905-953-0167

IWATA BOLT MEXICANA, S.A.D.E.C.V. [メキシコ本社]
CALZ. LAZARO CARDENAS NO.493-B3
COLONIA FERROCARRILES GUADALAJARA
JALISCO CP44440 MEXICO
TEL 52-33-3666-2370 FAX 52-33-3666-2373

IWATA BOLT MEXICANA, S.A.D.E.C.V. [ケレタロ支店]
CARRETERA QUERETARO-SAN LUIS POTOSI
NO.24000-B4 SANTA CATARINA, QRO CP76220
MEXICO
TEL 52-442-325-6265 FAX 52-442-325-6254

— ISO14001 認証企業・ISO9001 認証企業・ISO/IEC17025 認定企業 — URL <http://www.iwatbolt.co.jp/> —

イワタボルト株式会社